

I 令和4年度 事業報告書

第1 事業の概要

令和4年度は、従前に引き続き、外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、外国人市民を含む全ての市民や地域を対象に、自主事業として多文化理解推進、外国人市民支援、市民活動支援、情報収集・提供及び調査を実施し、受託事業として国際交流プラザ運営業務、国際交流ボランティア育成事業、地域日本語教育推進事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止を図るために、イベントや講座の多くをオンラインでの開催や、万全な感染対策を講じた上で対面で実施した年度となった。

その他、令和4年度が始まる直前の令和4年3月には、戦火を逃れてウクライナから千葉市に避難された方々の受入が始まり、千葉市と協働して各種支援を開始した年度となった。

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

多文化理解推進事業では、姉妹・友好都市への移動やホームステイを伴う青少年交流事業や語学講座は感染を予防するためにオンラインで実施したほか、国際交流プラザでのイベントについては万全の感染対策を行ったうえで開催する等、コロナ禍においても多文化理解の推進を図る事業を実施した。

(2) 外国人市民支援事業

外国人市民支援事業では、日本語学習支援をマンツーマン日本語交流、各種日本語クラス、日本語学習アドバイジング、関係機関とのつながり強化、地域日本語教室への運営支援等を千葉市から受託した「地域日本語教育推進事業」の一環として実施した。また、生活相談、法律相談、留学生交流員事業を実施したほか、災害時外国人支援として、災害時の対処方法や避難情報等をホームページやフェイスブックを通じて発信すると共に、外国人市民と共に「九都県市合同防災訓練」に参加する等の事業を実施した。

(3) 市民活動支援事業

市民活動支援事業では、ボランティアの登録・コーディネートを行うとともに、ボランティア向けの日本語交流つなぎで講座を実施したほか、国際交流・国際協力活動をしているボランティア団体への助成、「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の開催、ボランティアにより運営されている市内の日本語教室等の活動状況を調査し、日本語を学ぶ意欲のある外国人市民に提供する事業等を実施したほか、行政手続きや医療、教育、健康、福祉、子育て等の分野において、外国人市民との円滑な意思疎通や正確な情報伝達の支援をするため、新規にコミュニティ通訳・翻訳サポート制度を開始した。

(4) 情報収集・提供及び調査

情報収集・提供及び調査では、ホームページやフェイスブック等を活用し、千葉市や千葉県、国から出された新型コロナウイルス感染症の感染防止策や発熱時の注意事項、ワクチン接種、各種給付金等の情報を多言語で迅速に情報発信した。また、協会情報誌「ふれあい」や、外国人のための「ちば市政だより」の発行を行った。

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業

千葉市からの受託事業として、「国際交流プラザ運営業務」、「国際交流ボランティア育成事業業務」、「地域日本語教育推進事業」を実施したほか、新規に「国際交流プラザ運営業務」の一環として、ウクライナ避難民が本市で生活するにあたり必要な日本語を学べるよう、同避難民への学習支援を行っている市内の日本語学校、日本語教室に対し支援金を提供した。

第2 事業内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

日本人市民と外国人市民が気軽にふれあい、交流し、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を設け、多文化理解の推進を図った。

イベント名等	開催日	内 容 会 場	参加者 () 内外国人
外国人のお父さん お母さんのための おしゃべりサークル	4月 12 日 ほか計 11 回	保健師・看護士の資格を持つボランティアと協働し、子育てについて相談できる場を提供した。 国際交流協会プラザ、オンライン	11人 (11人)
七夕の文化紹介及び 飾り付け	6月 24 日～ 7月 8 日	日本の伝統である七夕を外国人の利用者に紹介し、日本人利用者と一緒に飾り付けをして交流を図った。 国際交流プラザ	56人 (短冊数)
日本語交流会	10月 22 日	国際交流プラザや千葉市内の日本語教室等で日本語を学んでいる外国にルーツをもつ 8 人が日本語によるスピーチを行った。 国際交流プラザ	59人 (25人)
国際理解講座「キューバ出身ダンス講師等による本格的なダンス指導と文化紹介をして市民への異文化理解と交流を図った。(都賀公民館共催) 都賀公民館	1月 21 日	キューバ出身ダンス講師等による本格的なダンス指導と文化紹介をして市民への異文化理解と交流を図った。(都賀公民館共催) 都賀公民館	16人 (4人)

イ 青少年交流（市補助）

姉妹・友好都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、毎年度、夏休み期間を利用して派遣及び受入を実施しているが、令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各姉妹・友好都市と協議した結果、青少年やホームステイ先の安全面を考慮し、互いの都市への訪問は中止とし、オンライン交流を実施した。

姉妹・友好都市	開催日	内 容	参加者 () 内外国人
カナダ ノースバンクーバー市	8月 14 日	両市の過年度派遣引率者が、派遣以降も続く交流について意見交換し、各年度の派遣生が互いの都市でどのような活躍をしているかについて語らい、将来の青少年交流事業の在り方についてその展望を話し合った。	17人 (13人)
アメリカ ヒューストン市	11月 30 日	両市の青少年交流事業に関係者による挨拶の後、葛城中学校の生徒が、学校紹介及び「よさこい踊り」の披露を行った。	60人 (10人)
	12月 8 日	令和 5 年度に千葉市を訪問する予定の River Oaks Baptist School の生徒が、同校の授業の内容の紹介等を葛城中学校の生徒に行った。	94人 (10人)
スイス モントルー市	12月 17 日	JR 海浜幕張駅南口広場にて開催された「スイス・クリスマスマーケット 2022 in マクハリ」の会場とスイス・モントルー市とをオンラインで結び、イベント来場者に公開する形で過去の派遣者が交流を行った。	10人 (2人)

ウ 語学講座

国際交流ボランティア活動支援及び育成を図り多文化理解を推進するため、ボランティアや賛助会員を対象に語学サロンを実施した。また、令和 4 年度には新たな講座として、世界一周文化体験講座を実施し、海外出身の協会職員やウクライナ避難民を講師と

した文化紹介を含む語学講座をオンラインで実施した。

講座名	期間	時間等	講師	受講者
実践中国語	6月7日～7月5日	2時間×5日	律 (協会職員)	4人
世界一周文化体験 (韓国、ベトナム、メキシコ、中国、 ジャマイカ、ウクライナ)	10月1日～ 11月12日	2時間× 6日	柳、朱、須本、カ一、玉島 (協会職員) ウクライナ人ボランティア	11人
中級英語サロン	1月13日～ 2月17日	2時間× 5日	ケイティ セクストン (市職員)	12人
中級中国語サロン	1月18日～ 2月22日	2時間× 5日	李 (協会職員)	3人
上級中国語サロン	1月19日～ 3月2日	2時間× 5日	律 (協会職員)	6人

エ 多文化共生推進

(ア) 各種イベント等

外国人市民と日本人市民の相互理解の促進による多文化共生を実現し、お互いに住みやすい社会を築いていくために行政、学校、ボランティア、自治会等の地域との連携を図り事業を実施したほか、千葉市や他の関係団体が開催する各種イベントに参加し、多文化共生推進にかかる事業の説明や活動紹介、協会のボランティア制度やその重要性に対する理解促進を図った。また、関係団体等からの調査への協力、会議メンバーとしての参加等により多文化共生社会実現に向けた取組みを進めた。

＜多文化共生の啓発＞

名称	開催日	場所	内容
千葉市立稻毛高校・附属中学校・稻毛国際中等教育学校 学校評議会	7月3月7日	書面 千葉市立稻毛高校・附属中学校・稻毛国際中等教育学校	学校評議員として学校評議員会に出席し、意見交換等を行った。
やさしい日本語ガイドンス	8月3日	国際交流プラザ	千葉市で受け入れたインターナンスと市立千葉高校の生徒計5人を対象に、やさしい日本語の活用等についての講義を行った。
みんなで学ぼう！多文化共生社会	8月15日	オンライン	千葉市生涯学習センター主催の市民自主企画講座にパネリストとして参加し、多文化共生についての説明を行った。
千葉市夏休みおしごと感動体験ワクワクワクデー2022	8月23日	国際交流プラザ	千葉市雇用推進課が小学生を対象として実施した事業に参画し、協会職員と共にやさしい日本語の翻訳作業等を行った。
大正大学社会共生学部の授業講師	10月27日	オンライン	大正大学からの依頼により千葉市における多文化共生の現状や協会の事業についての講義を行った。
一橋大学 学生の調査への協力	11月8日	オンライン	留学生が医療アクセスの際どのような困難を抱えているか研究に対するインタビュー調査に協力した。
千葉大学 学生の調査への協力	11月21日	国際交流プラザ	ウクライナ避難民に対する地域住民・コミュニティの受入に係るインタビュー調査に協力した。

やさしい日本語ガイダンス	11月28日	市内の貸会議室	チーム千葉ボランティアネットワーク事務局（千葉市市民自治推進課）からの依頼により、やさしい日本語の活用等についての講義を行った。
法政大学国際高等学校 生徒の調査への協力	2月4日	メール	コロナ禍における交流事業に関する調査に協力した。

<千葉市やその他団体との連携>

名 称	開催日	場 所	内 容
地域国際化協会連絡協議会総会	5月20日	オンライン	地域国際化協会連絡協議会（事務局：(一財)自治体国際化協会）の総会に出席し、同協議会や国の施策についての説明を受けた。
外国人相談窓口連絡会	5月27日	オンライン	東京出入国在留管理局が開催した会合に参加し、各外国人相談窓口の取組や事例等について学んだ。
千葉市多文化共生のまちづくり推進指針見直し・アクションプラン策定有識者会議	6月30日 12月22日	千葉市役所	千葉市が平成29年12月に策定した「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針」の改訂とアクションプランの策定に係る有識者会議に委員として出席し協議を行った。
多文化共生地域会議	7月14日	市文化センター	総務省が関東・甲信越ブロックの市町村や地域国際化協会を対象として開催した会議に出席し、各種の先進事例等の情報収集や意見交換等を行った。
外国人関係機関との懇談会	7月28日	オンライン	千葉県弁護士会が主催した懇談会に出席し、外国人の医療問題に対する事例研究や意見交換を行った。
公立夜間中学 学校説明会	10月1日	花見川保健福祉センター	千葉市教育委員会が令和5年4月に開校する夜間中学の入学希望者向けに開催した説明会に出席し、情報収集等を行った。
日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス 2022 in CHIBA	10月9日	千葉大学 西千葉キャンパス	房総多文化ネットワークが高校進学したい外国人の中学生と親のために開催したガイダンスに出席し、情報収集等を行った。
多文化共生社会づくり連絡協議会	10月11日	千葉県庁	千葉県国際課が千葉県における多文化共生社会の推進を図るために設置している協議会に出席し、意見交換等を行った。
国際交流・協力等ネットワーク会議	10月26日	オンライン	(公財) ちば国際コンベンションビューローと千葉県の共催により県内の国際化を推進することを目的に開催した会議に出席し、意見交換等を行った。
9都県市外国人相談企画研究会	10月28日	川崎市国際交流センター	大都市圏に共通する外国人相談の諸問題を研究討議し外国人相談事業の有効的な運営をはかることを目的に、地域内の自治体及び地域国際化協会で構成された研究会に出席し、意見交換等を行った。
千葉県災害時多言語支援センター運営訓練	11月7日	幕張テクノガーデン	県や市町村間の外国人支援の連絡を想定した災害時多言語支援センター運営訓練に参加し、被災時における関係機関との連携を深めた。
公益社団法人千葉市観光協会 総務企画委員会	12月19日 3月30日	市美術館 書面表決	(公社) 千葉市観光協会の事業等について、国際交流協会としての意見を述べたほか、情報交換を行った。

ウクライナ避難民支援担当者会議	1月 6 日	オンライン	千葉県国際課が主催した会議に出席し、ウクライナ避難民への支援に対する情報共有を図るとともに、今後の対応について意見交換を行った。
外国人相談担当者意見交換会	2月 22 日	オンライン	(公財) ちば国際コンベンションビューローが主催した会合に出席し、外国人相談担当者が業務に必要な知識を学ぶとともに、意見交換を行った。
やさしい日本語技術検証に係る協力	2月 27 日 契約	—	在留外国人向けに一般的な日本語をやさしい日本語へ変換する A I 技術を開発している(株) NTT ドコモの実証実験に対し変換結果の評価等を行った。
関東地域国際化協会連絡協議会	2月 28 日	オンライン	関東・甲信の地域国際化協会が相互に協力、連携して、地域における国際交流及び国際協力の推進を図ることを目的とした会合に出席し、意見交換等を行った。 (幹事 : 埼玉県国際交流協会)
N P O 法人多文化フリースクールちば 第9期卒業式	3月 21 日	中央コミュニティセンター	日本の高校への進学を支援する団体の卒業式に来賓として出席し、外国人の高校進学の現状について情報収集した。
第13回全日本アルパコンスクール＆アルパコンサート 2023	3月 25 日	市文化センター	千葉市で隔年開催されているイベントを後援し、「千葉市国際交流協会賞」を授与した。

<協会事業の P R ・ ボランティアの獲得>

名 称	開催日	場 所	内 容
春からはじめるボランティア！身近な 5 施設活用術	5月 28 日	市生涯学習センター	千葉市生涯学習センターがボランティア活動に関心を持つ市民向けに開催したイベントに講師として参加して協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。
高齢者福祉講座「はじめようボランティア講座」	7月 2 日 11月 19 日	中央区いきいきプラザ	中央区いきいきプラザがボランティア活動に関心を持つシニア世代の市民向けに開催したイベントに講師として参加して協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。
シニアから始めるボランティア相談会	10月 27 日	市ハーモニー プラザ	千葉市生涯現役応援センターがボランティア活動に関心を持つシニア世代の市民向けに開催したイベントに講師として参加して協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。
生涯学習ボランティアフェア 2022	11月 19 日 ～ 11月 27 日	生涯学習センター	千葉市生涯学習センターが市民のボランティア活動や生涯学習への関心を広めることを目的に開催したイベントに協会のボランティア制度や活動についてのパネル展示等を行った。
ちばし地域づくり大学校講座「今後の活動に向けたヒント」	12月 17 日 12月 20 日 1月 20 日	オンライン 市美浜文化ホール 市民会館	ちばし地域づくり大学校が地域活動を始めたい市民向けに開催した講座に講師として参加して協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。

<研修・セミナー等出席>

名 称	開催日 ほか 計4回	場 所	内 容
配偶者暴力関連スーパー・ビジョン	5月17日 ほか 計4回	中央コミュニティセンター	千葉市こども家庭支援課が主催したDV被害者からの相談に適切に対応し効果的な支援が行えるよう実施された会合に参加し、対応について学んだ。
外国人相談窓口相談員研修会	6月20日 ほか 計4回	オンライン	東京出入国管理局が主催した相談員向けの研修会に参加し資質の向上に努めた。
多文化共生の地域づくりコース	8月22日 ～ 8月26日	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)	(公財)全国市町村研修財団が外国人住民と共に、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に地域で暮らしていく多文化共生の地域づくりに必要な人材の養成を目的に開催した研修に参加した。
移民難民スタディーズ公開研究会	10月21日	オンライン	千葉大学の教授や研究員がアフガニスタン出身者の受入の現状や課題についての研究発表を行う研究会に参加し、今後の事業の一助とした。
ウクライナ避難民支援連携フォーラム	11月24日	オンライン	東京都がウクライナ避難民受入に係る取組状況や課題等を共有するために開催したフォーラムを参加し、今後の事業の一助とした。
外国人の受入れと社会統合のための国際フォーラム	2月22日	オンライン	外務省と国際移住機関が有識者の講演や事例発表を通じて課題や好事例の共有を図るために開催したフォーラムに参加し、今後の事業の一助とした。
ウクライナ避難民心のケアシンポジウム	2月24日	オンライン	(一社)全国心理業連合会と(一財)全国SNSカウンセリング協議会が開催したシンポジウムを参加し、ウクライナ避難民の心のケアの参考とした。

(イ) 職場体験等の受入ほか

児童、生徒に対し、就業体験の場や国際化に関する情報提供を行い、体験を通じて国際交流・国際協力への意識を醸成することにより多文化共生社会実現に向けての理解促進を図った。

対 象	期間等	内 容
小学生 千葉市雇用推進課による「千葉市夏休みおしごと感動体験ワクワクワークデー2022」に参加した小学生2人(小5・6)	8月23日	一般的な日本語をやさしい日本語に翻訳する作業の実践及び外国出身の協会職員との交流
中学生 市立葛城中学校の生徒3人(中2)	6月21日 ～ 6月23日	日本語クラスの見学、一般的な日本語をやさしい日本語に翻訳する作業の実践、協会職員へのインタビュー、職場体験で学んだことの発表

(ウ) 市及び公的機関からの文書等翻訳

令和4年度は、戦火を逃れて千葉市に転入してきたウクライナ避難民支援のために、関連機関からの依頼に基づきウクライナ語への翻訳を行った。

また、従前に引き続き協会職員が千葉市の医療政策課のコロナワクチン接種推進チラシ、幼保支援課のエンゼルヘルパー制度、健康保険課の国民健康保険パンフレット等の行政サービス周知のための翻訳や、千葉市教育委員会からによる外国出身の保護者向け資料の翻訳を行う等、多方面からの外国人市民への情報伝達支援を行った。

翻訳言語	翻訳件数	従事職員数 (外国人生活 相談兼務)	主な翻訳内容
英語	18 件	1 人	医療政策課 コロナワクチン接種推進チラシ 幼保支援課 エンゼルヘルパー制度紹介
中国語	14 件	1 人	健康保険課 国民健康保険パンフレット 防災対策課 災害時避難所マニュアル
韓国語	28 件	1 人	健康支援課 特定健康診査の問診票
スペイン語	25 件	1 人	教育委員会保健体育課 学校給食費に関する案内文 市民自治推進課 町内自治会リーフレット
ベトナム語	29 件	1 人	国際交流課 生活ガイドブック 多文化フリースクールちば 進路ガイダンス資料 他
ウクライナ語	8 件	1 人	避難民支援に係る案内文、避難民への国民健康保険概要・減免申請書類、新型コロナワクチン接種状況・接種希望調査票 他
合 計	122 件	6 人	

(2) 外国人市民支援事業

ア 日本語学習支援

(イ) マンツーマン日本語交流(100組 717回活動)

この事業は、外国人市民の社会参加と自律学習の促進を目指し、あわせて、日本人市民の多文化理解の促進を図るために、日本語学習支援ボランティアを日本語交流員、外国人学習者を外国人参加者とし、日本語の習得だけでなく、日本語を使ってコミュニケーションする力が向上するよう、国際交流プラザでの対話形式もしくはオンラインを利用した日本語活動を行った。

令和4年度は、新型コロナウィルス感染症の影響から対面での活動よりオンラインでの活動が増加した。

また、一部の日本語学習支援ボランティアから、オンラインサービスの利用方法やその活動内容の情報を互いに共有することにより、より質の高い活動を外国人市民に提供できるのではという提案があったことから、有志のボランティアがオンライン活動意見交換会を開催した。

(イ) 各種日本語クラス (千葉市委託事業にて実施)

名 称	開 催 日	参 加 者	回数等	講 師 (敬称略)
初級クラス1	5月21日～9月14日	2人	2時間×30回	杉崎聖子、前河由美子、新井太朗、水村由香
	5月31日～9月27日	2人	2時間×30回	
	10月4日～2月7日	17人	2時間×30回	
初級クラス2	5月17日～9月9日	8人	2時間×30回	天野伸子、田中久美、杉崎聖子、前河由美子
	10月8日～2月15日	6人	2時間×30回	
初級クラス1・2 (保育付き)	5月16日～9月12日	5人	2時間×30回	片岡由里子、天野伸子
	10月3日～2月13日	6人	2時間×30回	
読み書きクラス	6月1日～8月3日	10人	2時間×10回	山田美穂、前河由美子
	10月5日～12月14日	7人	2時間×10回	
生活日本語 クラス	6月7日～9月20日	7人	1.5時間×8回	萬浪絵理、山田美穂、鈴木恵美子(協会職員)
	10月1日～1月21日	4人	3時間×4回	
	10月4日～2月7日	5人	1.5時間×8回	
グループ学習 クラス	5月18日～8月3日	15人	2時間×12回	萬浪絵理、田中久美、山田美穂、天野伸子、水村由香
	8月20日～11月5日	22人	2時間×12回	
	11月9日～2月22日	29人	2時間×12回	
	11月12日～2月25日	32人	2時間×12回	

にほんごで はなすかい	5月20日～2月21日	41人 (内外国人 31人)	1時間×34回	ファシリテーター 前河由美子、杉崎聖 子、山田美穂
----------------	-------------	----------------------	---------	---------------------------------

(イ) 日本語学習アドバイジング（千葉市委託事業にて実施）

日本語学習希望者の相談に対応し、相談者の希望やライフステージに鑑み、将来にわたって戦略的に日本語を身に着けられるよう、アドバイスした。

(エ) やさしい日本語研修（千葉市委託事業にて実施）

外国人等の日本語習得を促進し、相互理解のための資質を養うため、外国人住民や職員が多い学校や企業等向けに「やさしい日本語」「多文化理解」研修を実施した。

開催日	対象・会場	人数	講師（敬称略）
9月27日	(株)セブン-イレブン・ジャパンの千葉県内店舗 担当カウンセラー及びマネージャー オンライン	約160人	萬浪絵理
10月12日	学校教職員 高浜第一小学校	15人	萬浪絵理
11月30日	子どもの活動や子育て支援に関わっている人 稻毛保健福祉センター (稻毛・こどものWAネットワーク事務局と共催)	17人	萬浪絵理
2月15日	一般市民 稻毛公民館	11人	萬浪絵理
2月18日	一般市民 宮崎公民館(宮崎公民館と共催)	17人	田中久美
3月15日	一般市民 稻毛保健福祉センター (千葉市社会福祉協議会稻毛区事務所と共催)	17人	田中久美

(オ)つながり強化（千葉市委託事業にて実施）

関係機関との連携

コンビニエンス店舗で外国人従業員を多く抱える(株)セブン-イレブン・ジャパンと情報交換と連携を検討し、県内店舗担当カウンセラー及びマネージャー向けに「やさしい日本語」、「外国人雇用についてのメリットや注意点」の周知及び市内大学、市内日本語学校に対し「お仕事説明会」の紹介を行った。

千葉市教育委員会主催の校長会、国際理解教育推進会議全体会や千葉市保育所所長会議で、外国出身保護者の日本語習得の重要性や日本語クラス実施内容の周知を行った。

情報交換会・意見交換会の実施

開催日	名称	内容	参加団体
6月8日	日本語教育関係機関意見 交換会	各機関の特徴や普段からの課題、他と連携についてのアイデアなどの意見交換を行った。	7団体
6月22日	日本語教室意見交換会	各教室の現状と課題についての情報交換を行った。	7教室
12月6日	外国につながる子どもも支 援に関する情報交換会	市内日本語教室・支援団体、小学校の日本語指導教室の支援・活動状況についての情報交換を行った。	9団体

地域日本語教室への運営支援

市内日本語教室・支援団体の内、研修を希望した4教室に対し出張研修を実施した。

開催日	教室名	研修内容(テーマ)・会場	講師(敬称略)
9月24日	みどり土曜 にほんご学級	児童生徒のための高校進学とその先 を見据えた日本語支援 オンライン	千葉大学 本間祥子
10月20日	国際交流せいかつ 日本語みはま会	習熟度が異なる人が混在するクラス の運営方法、日本語支援スキルの向上 美浜保健福祉センター	神田外語大学 加藤林太郎
10月28日	NPO法人多文化フリースクールちば	高校進学を希望する生徒に対する オンライン日本語指導 国際交流プラザ	NPO法人青少年自立支援センター 平野成美 田代奈緒子
11月12日	美浜こども にほんご教室	年少者に対する日本語指導の方法 美浜区ボランティアセンター	NPO法人日本語・教科 学習支援ネット 樋口万喜子

日本語を学んだ外国人の活躍の場創出

協会オリジナル教材「わたしを伝える日本語」を使用して日本語を学んだ外国人に、その経験を活かして新規の日本語学習者に対する外国人サポーターとして日本語学習支援を担う場を創出した。

多文化ウェルカム団体登録制度の設計

「日本語交流つなぎて講座」や「やさしい日本語研修」の修了者が在籍していることで外国人市民が参加しやすい環境が整っているサークルや地域団体をリストアップして紹介する制度を設計した。

イ 外国人生活相談

多文化共生コンシェルジュや外国人生活相談員を配置し、言語や習慣の違いなどから生じる日常生活の悩み等について、外国人市民並びに日本人市民からの相談を窓口や電話等で対応した。また、令和4年度は、新たに各区役所・保健福祉センターに配置されたタブレット端末を活用してオンラインによる相談を開始した。

職員で対応できない言語には、タブレット端末の翻訳機能を利用して、より多くの言語で対応を行った。

そのほか、ロシアの軍事侵攻から逃れるために来日したウクライナ避難民を千葉市でも多数受け入れたことから、生活に必要な各種支援を行った。

言語	方法	件数	人数
英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、ウクライナ語 等	協会窓口、電話、Eメール等	2,277 件	1,847 人

ウ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

法律相談年20回開催(うち平日昼6回、夜間6回、土曜日8回)

相談件数: 計44件

エ 外国人留学生交流員(市補助)

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援及び、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンの育成を目的に事業を実施し、1人あたり奨学金

60,000円を交付した。

在籍大学	出身地	在籍大学	出身地
神田外語大学	韓国	千葉大学	ベトナム
敬愛大学	中国	千葉大学	韓国

オ 災害時外国人市民支援

(ア) 各種防災訓練への参加及び外国人のための防災訓練等

名 称	開催日	場 所	参加者等 () 外国人
九都県市合同防災訓練	9月1日	蘇我スポーツ公園	10人(5人)
千葉市シェイクアウト訓練	9月5日	国際交流プラザ	11人(2人)
千葉県災害時多言語支援センター運営訓練	11月7日	幕張テクノガーデン	協会職員

(イ) 避難行動要支援者名簿掲載申請手続き及び個人情報の取扱いに関する協定締結

(平成 26 年 6 月 30 日) に基づく事業

(ウ) 千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定締結

(平成 26 年 8 月 28 日) に基づく事業

台風 8 号、14 号の接近や大雨予報にともなう情報発信及び大雨警報等に関する情報発信を協会 Facebook で行った。

(3) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネート

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、ボランティアの登録・コーディネートを行った。新型コロナウイルス感染状況も落ち着きを見せ始め、年度後半には徐々に依頼も増えてきた。これまで幅広い分野での通訳支援を行ってきたが、令和 5 年 1 月からは、新たに生活支援に特化したコミュニティ通訳・翻訳サポーター制度が開始したため、ボランティアの登録目的に合った育成、マッチングを図れるようになった。

(令和5年3月末)

内容	登録件数	斡旋依頼件数	活動延べ人数	主な実績
通訳	813	34	70	東部児童相談所面談 市内小学校での三者面談、公立夜間中学校説明会 産業廃棄物対策課 处理業者指導 千葉県精神科医療センター医師と患者の面談 市姉妹都市レセプション・交流行事 ウクライナ避難民支援映画会副市長通訳 イオンモール幕張新都市タイフェスティバル司会等通訳 他 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">言語：11言語</div> 英語、中国語、韓国語、スペイン語、モンゴル語、タイ語、 フィリピン語、ペルシャ語、ネパール語、ウクライナ語、ロ シア語 合計11言語
災害時語学	301	0	0	—
翻訳	566	48	150	医療政策課新型コロナ週報多言語翻訳 東部児童相談所資料等翻訳、国民健康保険案内文 避難所マニュアル・避難場所・避難所一覧等 市民総合窓口課生存証明書 ウクライナ・ポルタヴァ州評議会手紙 他 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">言語：9言語</div> 英語、韓国語、ネパール語、フィリピン語、マレー語、タイ 語、ウクライナ語、フランス語、やさしい日本語
ホームステイ	108	1	1	市内高校留学生フランス人ホームステイ（10か月）
ホームビジット	171	0	0	—
文化紹介	230	7	13	都賀公民館共催「キューバサルサダンス講座」講師 ウクライナ避難民との交流（日本文化紹介、ドラム演奏他） 千葉市南部青少年センター英会話講師 協会文化紹介講座 ウクライナ文化紹介講師 他
日本語学習支援	498	91	717	中国、アフガニスタン、アメリカ合衆国、ウクライナ、オーストラリア、カナダ、セネガル、パキスタン、フィリピン、ベトナム、モンゴル、韓国、台湾
国際交流支援	507	5	10	多文化共生プロジェクト パネリスト 九都県市合同防災訓練 日本語交流会、やさしい日本語ガイダンス ちば市国際ふれあいフェスティバル 他
合 計	3,194	186	961	

イ コミュニティ通訳・翻訳サポーター（市補助）

令和4年度の新規事業として、高い言語能力等の資質を備えた通訳・翻訳ボランティアを「コミュニティ通訳・翻訳サポーター」として認定し、行政手続きや医療、教育、健康、福祉、子育て等の分野において、外国人市民との円滑な意思疎通や正確な情報伝達の支援を開始した。

サポーターの認定にあたっては、対人援助適正、通訳技術、守秘義務、中立性などの行動規範等を学ぶ講座の受講を必須としたほか、医療現場や教育現場でも適切な支援ができるよう各種の講座を開催した。

(ア) コミュニティ通訳・翻訳サポーター認定登録者

<通訳> 127人 登録言語数 20言語

<翻訳> 129人 登録言語数 19言語

(単位:人)

No	言語	通訳	通訳内外国出身者	翻訳	翻訳内外国出身者
1	英語	76	5	77	4
2	中国語	15	9	13	8
3	韓国語	7	5	8	5
4	スペイン語	5	1	5	1
5	ロシア語	4	1	6	2
6	インドネシア語	2	0	2	0
7	ベトナム語	3	2	3	2
8	モンゴル語	2	2	2	2
9	タイ語	1	1	1	1
10	ドイツ語	1	1	1	1
11	ポルトガル語	1	0	1	0
12	フランス語	1	0	1	0
13	イタリア語	1	1	0	0
14	ウクライナ語	1	1	2	1
15	タガログ語	1	1	1	1
16	アラビア語	1	1	1	1
17	ミャンマー語	1	1	1	1
18	ネパール語	2	2	2	2
19	シンハラ語	1	1	1	1
20	ペルシャ語	1	1	1	1
合計		127	36	129	34

(イ) 養成講座・分野別講座の実施

名 称	開催日	内容・講師（敬称略）
コミュニケーション・翻訳サポーター養成講座	12月17日 12月24日	概論、行動規範、通訳技術基礎 等 MICかながわ 通訳スタッフ 岩本 弥生（ポルトガル語）
コミュニケーション・翻訳サポーター分野別講座（医療・学校）	1月28日	医療通訳の基本、通訳技術 等 MICかながわ 通訳スタッフ 鈴木 万里子（英語）
コミュニケーション・翻訳サポーター分野別講座（学校内における通訳養成）	2月4日	通訳の役割、学校特有の表現 等 MICかながわ 通訳スタッフ 赤澤 千佳子（ポルトガル語）

※いずれも、オンラインで実施

(ウ) 活動実績（令和5年1月4日～3月31日（3か月間））

■通訳実績件数 67件/3か月

通訳分野	対象外国人国籍・言語	活動件数	内 容
医療	ウクライナ、中国、モンゴル、ロシア	32	脳神経外科検査、歯科手術、消化器検査、各科受診（皮膚科、耳鼻咽喉科、小児科等）、健康診断（小学校入学時、企業検診等）、MRI、内視鏡検査等
	英語、中国語、モンゴル語、ロシア語		
行政	コートジボワール、イラン、ナイジェリア、フィリピン、タンザニア、中国、ネパール、ウクライナ	13	市総合窓口（国民健康保険料の分割納付申請手続）、保健福祉センター（身体障害者助成内容と申請方法説明）、消費生活センター、生活自立支援センター（市家計相談員との相談）、健康保険課、医療政策課、法務局（法人登録手続き）、旅券事務所
	英語、中国語、ネパール語、ロシア語		
教育	フィリピン、ガーナ、中国、モンゴル、ウクライナ、アフガニスタン	10	入学時面接試験、入学時説明会、三者面談
	英語、中国語、モンゴル語、フィリピノ語、ペルシャ語、ロシア語		
各種相談	マダガスカル、ベトナム、ウクライナ	8	就労・労働、法律相談、警察での事情聴取
	英語、ベトナム語、ロシア語		
子育て	エジプト、アメリカ合衆国	2	保育所入所手続き、入園オリエンテーション及び面談
	英語		
健康福祉	フィリピン	2	障害者基幹相談支援センター 子供の発達に関するヒアリング
	フィリピノ語		
合 計		67	

■翻訳実績件数 31 件/3か月

翻訳分野	対象外国人国籍・言語	活動件数	内 容
医療	中国、ウクライナ	2	病院診断書、歯科手術注意事項・説明書
	中国語、ロシア語		
行政	バングラディッシュ、コートジボワール、フィリピン、ブラジル、韓国等	17	身体障害者手帳の割引・減免・助成内容・申請方法、東部児童相談所（立ち入り調査決定調査票、出頭要求告知書等）、市民便利帳、医療政策課ワクチンパスポートちらし、千葉市基本計画等
	スペイン語、韓国語、英語、フィリピノ語、ポルトガル語		
教育	iran、フィリピン、ネパール、アフガニスタン、スペイン語圏	8	夜間中学校用気象警報、地震・津波に備えた対策及び大規模地震時の対応に係る手紙
	アラビア語、フィリピノ語、ネパール語、ペルシャ語		
各種相談	韓国、ウクライナ	2	遺骨の受取相談手紙、雇用契約書・会社規約等入社時書類
	韓国語、ロシア語		
子育て	タイ、スペイン語圏	2	出生証明書、延長保育申込書・保育所防災マニュアル
	タイ語、スペイン語		
合 計		31	

ウ ボランティア研修

日本語交流つなぎて講座(千葉市委託事業にて実施)

外国人市民との交流や日本語学習支援に役立つ知識とスキルとして、多文化共生と日本語交流促進、「やさしい日本語」、「聞く」と「待つ」等を学ぶ講座を実施した。

また、活動の場や学習教材についても取り入れ、修了後の活動につながるような内容とした。

開催日	参加者	回数等	講師（敬称略）
6月4日～7月2日	17人		神田外語大学 徳永あかね
10月18日～11月15日	21人	2時間×5回	萬浪絵理
1月14日～2月18日	25人		田中久美

日本語交流員フォローアップ講座(千葉市委託事業にて実施)

活動している日本語交流員を対象に、「実際に活動する際のヒント」「活動のふりかえり」等を通して活動に関する相談やアドバイスを行った。

開催日	テーマ	参加者	講師（敬称略）
7月9日	難民や避難民受入れの配慮について考える	35人	千葉大学 佐々木綾子
9月14日	相談を受けたときの対応	5人	萬浪絵理
11月5日	自己表現活動中心の日本語学習	10人	萬浪絵理
1月25日	外国人と一緒に使う地域活動	5人	田中久美

エ 国際交流・国際協力団体活動助成（市補助）

市内のボランティア団体等による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成し、在住外国人への日本語学習支援に関する活動を優先的に助成した。

	団体名	事業名	助成額
1	美浜こどもにほんご教室	美浜こどもにほんご教室 開催	100,000
2	花見川土曜にほんご教室	外国市民に繋がる日本語支援	100,000
3	みどり土曜にほんご学級	みどり土曜にほんご学級	100,000
4	千葉市JSL児童・生徒支援の会	外国につながる児童・生徒のための日本語指導支援事業	100,000
5	センシティ土曜にほんご学級	日本語を母語としない子ども達への支援	100,000
6	千葉市英語通訳会	通訳ボランティア活動の為の英語スキルアップ勉強会	23,000
7	ちば夜間中学をつくる会	ちば自主夜間中学運営	100,000
合 計			623,000

オ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染者が減少傾向にあることを踏まえ、「ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会」の判断により、過去3年、中止またはビデオメッセージの配信での開催としていた同フェスティバルを、4年ぶりに対面で開催した。国際交流協会は、同運営協議会の事務局として開催の支援をした。

内 容	開催日	場所	参加団体	来場者数
ステージ発表、体験コーナー、パネル展示による活動紹介、バザー等	2月5日	国際交流プラザ	13団体	約450人

カ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室27か所(中央区：4、花見川区：5、稲毛区：4、緑区：3、美浜区：10、若葉区：1)の情報をまとめ、日本語学習の機会を求める外国人市民に対し国際交流プラザ窓口で案内したほか、協会ホームページに掲載する等により情報提供を行った。また、日本語教室以外にも国際交流等の活動を行っている団体についても、協会ホームページに情報を掲載して紹介する等により、各団体の活動活性化の支援を行った。

(4) 情報収集・提供及び調査

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通

じて幅広く発信した。Facebook を併用することで、情報の提供頻度・量の充実を図った。

特に令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の他、新型コロナワクチン接種に関する情報を発信した。

内 容	時 期
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 (やさしい) 日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ベトナム語・ウクライナ語 ※100以上の言語に自動翻訳する機能を実装	通年

イ 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌「ふれあい」を発行した。

内 容	発 行	部 数	配布先等
「ふれあい」発行 105～107号	8月、12月、3月 (年3回発行)	各2,500部	賛助会員、市内公共施設、ホームページへの掲載等

ウ 千葉市の生活情報提供

外国人市民に対し、ちば市政だよりを始めとする有益な生活情報を、外国人のための「ちば市政だより」やさしい日本語版として毎月発行するとともに、協会ホームページの自動翻訳機能を活用して提供を実施した。

エ 情報ラウンジ

令和4年度も各国語で新型コロナ感染症予防や連絡先等に関する情報発信を続け、マスク着用や手指の消毒周知のための掲示物により新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた。

情報コーナーにおいて、協会の多文化共生推進活動やボランティア活動などについての情報提供、市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。

内 容	時 期	場 所
新型コロナウイルス感染症予防のための情報掲示		
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の配置	通年	国際交流プラザ
ふれあいボード（市民間情報交換用掲示板）		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業の実施

ア 国際交流プラザ運営業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を実施した。

施設利用状況 (開館日数 294日)

会議室		国際交流ラウンジ					合 計
		日本語交流活動	外国人相談	多目的スペース	窓口対応	小 計	
件数	1,397	717	2,277	6,808	1,224	11,026	12,423
人数	11,946	1,434	1,847	6,808	1,224	11,313	23,259

令和4年度は、外国人総合相談窓口の拡充業務として、タブレット端末17台を導入し、区役所等の窓口と国際交流プラザをビデオ通話アプリにより遠隔で繋ぐほか、多言語音声翻訳アプリも活用することによって、外国人市民の相談体制の強化及び円滑なコミュニケーションを行う業務を実施した。

また、ロシアによる軍事侵攻により、避難を余儀なくされたウクライナ避難民が本市で生活するにあたり必要な日本語を学べるよう、同避難民への学習支援を行ってい

る市内の日本語学校、日本語教室に対し、一人当たり月 50,000 円上限に支援金を提供した。

	学校・教室名	延べ人数	支援額
1	双葉外語学校	9	2,784,000
2	多文化フリースクールちば	1	72,000
3	稻毛土曜にほんご学級	2	5,000
4	都賀日本語教室	5	661,550
5	新富国際語学院	1	127,421
6	エーアイディ国際学院	2	123,200
7	ayc にほんご教室	1	350,000
合 計		21	4,123,171

※対象期間は、令和4年5月から令和5年3月

イ 国際交流ボランティア育成事業業務

当事業は千葉市の国際化及び多文化共生社会の推進に資するために、新たな国際交流ボランティアの発掘・育成及び既存国際交流ボランティアのスキルアップを目指すことを目的とし、リーダー会議の開催と自主学習グループ活動支援、及び専門的な通訳スキルを学ぶための講座を開催した。

(ア)通訳ボランティア・リーダー会議

上述した自主学習グループのリーダー等がオンラインを介して一同に集まり活動報告や課題の共有等を行ったほか、コミュニティ通訳分野で造詣の深い専門家を講師とした講座を開催し、通訳ボランティア育成を図った。

開催日時	場所・講師（敬称略）等	参加者・内容
6月18日	オンライン	通訳ボランティアグループ・リーダー会議 出席者：11人（8グループ代表等） 内 容：コミュニティ通訳・翻訳サポート制度概要について、 令和4年度講座等年間スケジュール、CHIEVO活動報告
7月2日	オンライン	コミュニティ通訳・翻訳サポート説明会 出席者：20名（12グループメンバー） 内 容：制度詳細内容、手続方法、認定後の流れ、質疑応答
1月21日	オンライン 講師：園田真一 アドバイザー： 現役医師 大谷俊介	第1回 英語医療通訳講座 受講者：32名 (4名外国出身者 アメリカ合衆国、中国、アイルランド) 内 容：総合受付での手続き内容
2月18日	オンライン 講師：園田 真一 現役医師：大谷俊介	第2回 英語医療通訳演習講座 受講者：28人 (内、4名外国出身者 アメリカ合衆国、中国、アイルランド) 内 容：内科（胃腸炎関連、胃・大腸内視鏡検査）
3月18日	オンライン リーダー報告会	通訳ボランティアグループ・リーダー会議 出席者：13人（12グループ代表等） 内 容：各グループ活動報告、情報交換、課題検討
3月18日	オンライン 講師：園田 真一 アドバイザー： 現役医師 大谷俊介	第3回 英語医療通訳演習講座 受講者：25人（内2名外国出身者 中国） 内 容：内科（内分泌、メタボリックシンドローム、糖尿病）

(イ)自主学習グループへの通訳ボランティア活動及び勉強会への支援

平成27年度から平成30年度にかけて千葉市から受託していた「通訳ボランティア・スキルアップ講座」の受講者から成る自主学習グループは、平成27年度に結成された4団体から、現在は13団体に拡大し、協会は多文化共生に資する市民活動を支援して

きた。

特に通訳勉強会にとどまらず、グループ独自で外国人市民支援活動を行う団体に成長するまでになり、(1) 医療通訳勉強会を含む外国人市民等への通訳支援活動、(2) 異文化理解活動、(3) 社会福祉支援活動と主に3分野で活動を展開している。

協会は、これら活動を側面・後方的に支援するため「英語医療通訳」や「高齢者向け介護予防活動」など、各団体が展開する自主活動を円滑に実施できるよう各種アドバイス、情報提供、広報支援、専門機関との連携等々、運営面に対してコーディネートを行い、市民ボランティア団体の育成・活動の支援を実施し、多文化共生の推進を図った。

ウ 地域日本語教育推進事業

(ア) 千葉市地域日本語教育推進会議

開催日	議題及び検討内容
7月6日	令和4年度事業経過報告・課題検討 令和5年度事業及び令和5年度以降事業の方向性検討
11月16日	令和4年度事業経過報告 令和5年度事業及び令和5年度以降事業の方向性検討
2月8日	令和4年度事業報告 令和5年度事業計画説明
推進委員 (順不同)	千葉大学 新倉涼子 神田外語大学 徳永あかね 双葉外語学校 小川早苗 千葉モードビジネス専門学校 宮下雅美 千葉商工会議所 企画経営部経営支援課 宮倉豊明 ほっとスペース稻毛ペコリーノ 前原寛和 株式会社セブン・イレブン・ジャパン 大川裕 株式会社セブン・イレブン・ジャパン 山口大輔 ベイタウン日本語教室 堀康二 美浜こどもにほんご教室 小林稔子 千葉市教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習振興課 内海豊 公益財団法人千葉市教育振興財団 公民館管理室 斎藤友樹 生活者 三浦テュイ 千葉市 総務局市長公室国際交流課 市倉秀子 千葉市教育委員会 学校教育部教育指導課 樋口雅也

敬称略

(イ) コーディネーターの配置

職名	業務内容	氏名
総括コーディネーター	事業全体の企画・運営・連絡調整、大学・企業・NPO・日本語教室の活動状況把握やネットワーク促進	萬浪絵理 鈴木恵美子
地域日本語教育コーディネーター	日本語クラスや研修の企画・運営・コーディネート	田中久美

- (ウ) 各種日本語クラス (2) 外国人市民支援事業 ア日本語学習支援 再掲
- (エ) 日本語教師初任研修 (2) 外国人市民支援事業 ア日本語学習支援 再掲
- (オ) やさしい日本語研修 (2) 外国人市民支援事業 ア日本語学習支援 再掲
- (カ) つながり強化 (2) 外国人市民支援事業 ア日本語学習支援 再掲
- (キ) ボランティア研修 (3) 市民活動支援事業 ウボランティア研修 再掲

第3 賛助会員(令和5年3月末現在)

区分	合計
個人	224人
法人・団体	69団体